

令和4年度事業報告書

公益財団法人全国友の会振興財団

第1 友の会館の設置、管理、運営事業

全国各地に友の会館を設置し、管理、運営を行い友の会が公益活動を行うために必要な拠点として友の会館を提供し、その活動強化と地域への貢献をはかる。

1, 友の会館耐震診断のための調査を行う

耐震診断が必要な友の会館ごとに対応し相談を重ねた。

2, 友の会館耐震診断長野、新潟、水戸 改修工事:市川、神戸、大阪、松山、水戸

3, その他 榛名運動場、島原友の会館売却

第2 全国友の会が行う活動に対する援助・助成事業

助成金 1,400 万円

全国友の会は、家庭生活の健全な発達に力をつくし、社会の文化向上に寄与することを目的として、生活研究を行い、それをもって周囲に働きかけた。

以下の全国友の会活動に対し援助、助成を行った。

1 全国友の会大会

令和3年度の全国各地の実践の報告と令和4年度全国友の会の諸活動の協議を行った。

開催日等 令和4年5月18日 自由学園・ハイブリッド 出席 1,152名

5月19日 日本教育会館・ハイブリッド 出席 1,302名

2 生活研究

次に掲げる各種活動の内容向上のための研究と実践

(1) 子どもへの活動助成

社会情勢を踏まえ未就学と小学生、その家庭の健全な成長を願い子どもへの活動を助成した。

各地友の会が自主的に就学前の子どもと小学生、その親に対して生活講習会などを対面またはオンラインで開催した。

(2) SDGs を目指す生活合理化啓蒙運動として下記の研究会を行った

* 全国生活研究会

開催日 令和4年7月13日、14日

自由学園明日館講堂 ハイブリッド開催 1,116人(海外含め)

テーマ:

「平和な社会を願って、真の合理的生活を次代につなぐ」

ー羽仁もと子家計簿の思想を広めるー

(3) 全国家計調査

全国友の会が行う家計調査 8,599人が提出した。この調査のまとめをもって全国各地で開催する家事家計講習会などの資料としても活用した。

(4) 機関紙「友の新聞」の発行 年10回

コロナで自粛する会員と国内、海外友の会を結ぶ役目を果たしている。

(5) 友の会インターネット関係設備

友の会館のインターネット関係設備を整えた。設置後は外部の方、海外からの参加などもありオンライン上でも新しい交わりが広がっている。

(6) 図書、史料のアーカイブ化を進めた

第3 友の会の行う家事家計講習会に対する助成 助成金 338,071 円

全国一斉に開催される家事家計講習会会場費とオンライン開催のための助成を行った。会場開催 53 会場延べ 62 回、オンライン開催 22 友の会延べ 68 回。

第4 「U6 プロジェクト」推進に対する助成 助成金 100 万円

友の会 U6 プロジェクト活動を推進させるための会議を 3 回行い、今年度で終了する友の会幼児生活団の持つ長い歴史と培った内容を今後どのように伝えていくかなども話し合った。

また、子どもの成長について榎田二三子氏、保育園で遊びから学んでいく子どもの様子と親や周りの大人の関りかたなどを学ぶ柴田愛子先生の講演会を各地友の会へ薦めた。その結果各地で行い、そこには会員外の若い人の参加も多くあった。

第5 東日本大震災復興支援活動に対する助成 助成金 15 万円

「アレクセイと泉」上映と加えて監督と関係者で鼎談を行った。

第6 社会福祉援助、災害救援 助成金 300 万円

社会福祉

アジア学院 50 万円

志染愛真ホーム 50 万円

日本心身障害児協会 50 万円

災害援助

ウクライナ救援のため国境なき医師団 100 万円

ウクライナ学生奨学金 50 万円

第7 維持会員の異動状況

	期首	期末	増減
維持会員	14,612 人	13,831 人	-781 人